

整理番号 98T194P010 発送番号 280877

発送日 平成14年 9月10日
mailing date September 10, 2002

1 / 2



特許理由通知書

特許出願の番号 平成10年 特許願 第152835号
 起案日 平成14年 8月19日 Issued on August 19, 2002
 特許庁審査官 山田 泰之 8720 4V00
 特許出願人代理人 鈴木 俊一郎 様
 適用条文 第29条の2

RECEIVED
OCT 03 2002
TC 1700

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の請求項1～3に係る発明は、その出願の日前の特許出願であって、その出願後に出願公告（特許掲載公報の発行）又は出願公開がされた下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同一ではなく、またこの出願の時において、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないので、特許法第29条の2の規定により、特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

下記引用文献等一覧に記載の先願1及び2の出願当初の明細書には、10～100 μ mの高さの突起状物を有するウエハの表面に粘着フィルムを貼付して、ウエハ裏面加工時の窪み発生や破損を防止することが記載されている。

そして、これら明細書には、本願発明における動的粘弾性のtan δ や、基材の厚みとヤング率との積について記載されていないが、これら明細書に記載の先願発明1及び2は本願発明と目的や効果の点において差異はなく、また、ウエハ裏面加工時の窪み発生や破損を防止できることからみて、本願発明中の動的粘弾性のtan δ や、基材の厚みとヤング率との積と同程度の値を有していると解されるから、先願発明1及び2は本願発明と同一の発明である。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

1. 特願平8-347432号(特開平10-189504号)
2. 特願平9-168621号(特開平11-16863号)

(1) 明細書を補正した場合は、補正により記載を変更した個所に下線を引くこと(特許法施行規則様式第13備考6)。

(2) 補正の際には、補正は、この出願の出願当初の明細書又は図面に記載した事項のほか、出願当初の明細書又は図面に記載した事項から当業者が直接的かつ一義的に導き出すことができる事項に限られる点に注意し、意見書で、各補正事項について補正が適法なものである理由を、根拠となる出願当初の明細書の記載箇所を明確に示したうえで主張されたい。意見書の記載形式は、特許異議申立てにおける訂正請求書の記載形式を参考にされたい。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第三部有機化学 山田 泰之
TEL. 03 (3581) 1101 内線6811
FAX. 03 (3501) 0698

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 C09J7/02,
H01L21/304, 21/301
DB名
- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。